

学生の確保の見通し等を記載した書類

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

① 定員充足の見込み

入学定員設定の考え方については、これまで結果として本来の入学定員を超過し、今回の収容定員増加における入学定員にほぼ相当する入学者数を出してしまったが、そのような超過の状態の中でもクラス担任・副担任制、オフィスアワー、ティーチング・アシスタント等を活用し、また、インターネットを通じて、授業担当者との連絡、レジュメ確認、小テスト受験、グループワーク、ディスカッション等を行うことができる学習支援システム「manaba」や、履修登録、休講・教室変更情報や履修結果の確認、追・再試験受験申し込み等を行うことができる教務システム「Campus Avenue」を導入して、きめ細やかな履修指導・学習指導を行うことができていたことから、当然ではあるが今後は入学定員を厳守することとしたうえで、これまでの入学定員の超過分を増加させることとした。

定員充足の見込については、今回の収容定員増加を行う学科・専攻の過去5年間の志願者数等は資料1「入学志願状況等」のとおりであり、常に志願者数が入学定員を大きく上回っていること、また、千代田キャンパス（東京都千代田区）では再開発プロジェクトにより施設・設備が充実し、これまで1年次のみ狭山台キャンパス（埼玉県入間市）を履修地としていた家政学部、文学部については平成27年度から、全学年多摩キャンパス（東京都多摩市）を履修地としていた比較文化学部については平成28年度から段階的に、1年次から4年次まで一貫して千代田キャンパスで学ぶことができるようになり、オープンキャンパス等においても頻繁に質問を受けるほど来場者の関心事項であったことから、志願者数の増加が見込まれ、十分に定員を充足するものとする。

② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

定員充足の根拠となる客観的なデータは、前述の資料1「入学志願状況等」のとおりで、常に志願者数が入学定員を大きく上回っており、過去5年間の平均志願倍率は家政学部被服学科3.93倍、児童学科児童教育専攻7.19倍、ライフデザイン学科4.02倍、文学部日本文学科4.89倍、英文学科6.39倍、コミュニケーション文化学科4.68倍、比較文化学部比較文化学科4.14倍と、それぞれ高水準となっている。

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

広報活動としては、オープンキャンパスを年7回前後開催しており、資料2「オープンキャンパス来場者数」のとおり毎年来場者数が増加していて、たいへん好評である。また、予備校や新聞社等が開催する進学相談会は毎年90回前後、高校における進学説明会は120校以上で行っているほか、本学における公開授業、高校への出張授業など高大連携事業を積極的に行っている。加えて、本学主催・千代田区後援の大妻さくらフェスティバルをはじめとした地域連携活動を通じて、高校生以外に対しても本学のアピールに努めている。

前述のとおり、千代田キャンパスでは再開発プロジェクトに取り組んでいる。平成25年には本館E棟、平成26年には本館F棟と別館J棟が完成し、先進的な設備を備えた講義室、実習室等が数多く配置され、学習環境が格段に改善されている。平成27年4月には、千代田キャンパスに近い学生寮である大妻加賀寮（収容定員350名）がリニューアル・オープンし、平成24年に開寮した大妻久我山寮（収容定員200名）と合わせ、より多くの学生が学生寮に入居することができるようになった。今後も同プロジェクトとしては、平成28年度には、

2つのアリーナ、学生のためのアクティブラーニングスペース、講義室、ゼミ室等を備えた地上7階、地下2階のG棟、講義室、ゼミ室のほか情報処理実習室・自習室、研究室等を備えた地上8階、地下2階のH棟が完成する予定である。学生にとっては、先進的な施設・設備を備えた千代田キャンパスにおいて、1年次から4年次まで一貫して学ぶことができるようになり、このことは、学生確保に向けての大きなアピールポイントとなっている。

2 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学は、その目的を以下のとおり定めている。

本学は教育基本法に基づき、学校教育法に定めるところに従い、広く知識を授けると共に深く専門の学芸を教授研究して、応用的能力の展開と人格の完成に努め、高い知性と豊かな情操を有する女性の育成を目的とする。

そして、これに適合させる形で、学科・専攻における「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」を定めている。

今回の収容定員増加を行う学科・専攻における「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」は、以下のとおりである。

<家政学部>

新しい時代に求められる学びをリードする「未来志向型サイエンス」を主軸に教育を行い、自立心あふれる職業人を育成する。

《被服学科》

衣を通して、イマジネーションにあふれる生活を創造し、新しい価値観と豊かな心を育み、夢のある社会の形成に参加できる人を育成する。

《児童学科児童教育専攻》

子どもの成長を総合的に支援していくために必要な専門性をもった人材を育成する。

《ライフデザイン学科》

21世紀に求められる真に豊かな生活や自立した生き方をデザインし、提言できる人材を育成する。

<文学部>

「ことば」による広い意味でのコミュニケーションを教育のテーマとし、実技と知識・感覚の錬磨を学修と教育の両輪とすることにより、時代の進展に柔軟に適応できる有為な人材を養成する。

《日本文学科》

日本語と日本文学を通して、人間理解を深め、豊かな教養と人間性を養う。

《英文学科》

英語とそれを中心とした文学や文化の学修を通して、人間理解を深め、国際性豊かな人材を育成する。

《コミュニケーション文化学科》

国際性、現代性、学際性をキーワードに、社会・文化をとらえ、国際的なコミュニケーションの場で自立できる女性を育成する。

<比較文化学部>

《比較文化学科》

2カ国語を修得し、各地域毎の文学、美術、宗教、政治、歴史などを日本文化と比較研究することにより、急激に変化する国際社会にも柔軟に対応できる人材を育成する。

- (2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠
学校法人大妻学院は、創立100周年を期して平成20年度に、同学院のミッションを以下のとおり定めている。

学祖大妻コタカの建学の精神を、新しい時代の文脈の中で、組織的に教育・研究・地域活動に活かすことにより、豊かな教養と思いやりの心をもち合わせた、真に自立した女性を育成し、社会関係資本の充実を図ることで、健全で持続可能な社会の実現に貢献する。

また、本学は、このミッションを推進するために必要な教育目標を以下のとおり定めている。

女子教育の伝統を基にした総合的な人間教育

専門職業人女性の育成教育

地域との連携における教育・研究面での中枢的寄与および指導的人材の育成

これらの教育目標に掲げられているものは、現代社会で求められている人材であり、学科・専攻で媒体は異なるものの、このミッション・教育目標が根幹をなしている上記(1)の「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」は、社会的・地域的な人材需要の動向等に合致したものである。

今回の収容定員増加を行う学科・専攻の分野は、学生の就業意欲が高い分野である。全国レベルでは、過去5年間における卒業者に占める就職者の割合は、学校基本調査の「関係学科別就職率の推移(大学[学部])」によれば、家政学部の分野である「家政」は、過去5年間とも80%前後で推移していて全分野の中で最も高く、文学部、比較文化学部の分野である「人文科学」も70%前後で推移していて上位につけている。資料3「卒業者に占める就職者の割合」は、分野を学科・専攻まで細分化し、本学と全国とで比較したものであるが、本学の割合も全国と同様で高く、学科・専攻によっては全国の割合を上回っているところも多く見られる。

また、資料4「就職希望者に占める就職者の割合」は、今回の収容定員増加を行う学科・専攻の過去5年間における就職希望者に占める就職者の割合を示したものであるが、80%前後で推移しており、学科・専攻によっては90%を超える高い割合となっている。

このように、卒業者の多くが就職を希望し、実際に就職することができているということから、本学の就職状況は好況であるといえる。

さらに、本学への求人についてであるが、資格が必要な特定業種を除き、ほとんどが対象学科・専攻の指定がないものとなっており、今回の収容定員増加を行う学科・専攻に限定した求人受理件数としては明らかにすることはできないが、本学全体の状況は資料5「卒業者に対する求人受理件数の割合」のとおりであり、平成27年3月卒業者に対する求人受理件数の割合は過去5年間で最も高く、5.8倍となっている。1件の求人票で複数名の求人もあることから、実際はこの求人票受理件数以上の求人がきており、また、景気の緩やかな回復や人手不足などを受けた企業の採用意欲の高まりは今後も続くことが予想されるため、今回の収容定員増加を行っても、十分な人材需要があると考えられる。

資料1

入学志願状況等

学部等名	項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
家政学部 被服学科	入学定員	100	100	100	100	100
	志願者数	400	363	358	381	464
	受験者数	387	349	337	359	425
	合格者数	147	171	166	182	181
	入学者数	112	123	110	110	112
	志願倍率	4.00	3.63	3.58	3.81	4.64
	入学定員超過率	1.12	1.23	1.10	1.10	1.12
児童学科 児童教育専攻	入学定員	50	50	50	50	50
	志願者数	375	271	330	445	376
	受験者数	370	250	314	426	363
	合格者数	119	98	111	129	99
	入学者数	63	61	63	61	59
	志願倍率	7.50	5.42	6.60	8.90	7.52
	入学定員超過率	1.26	1.22	1.26	1.22	1.18
ライフデザイン学科	入学定員	100	100	100	100	100
	志願者数	265	381	393	286	687
	受験者数	250	365	381	271	653
	合格者数	185	212	173	213	210
	入学者数	127	135	121	120	121
	志願倍率	2.65	3.81	3.93	2.86	6.87
	入学定員超過率	1.27	1.35	1.21	1.20	1.21
文学部 日本文学科	入学定員	100	100	100	100	100
	志願者数	468	394	387	465	730
	受験者数	449	380	371	446	699
	合格者数	211	217	272	271	282
	入学者数	127	121	135	116	125
	志願倍率	4.68	3.94	3.87	4.65	7.30
	入学定員超過率	1.27	1.21	1.35	1.16	1.25
英文学科	入学定員	100	100	100	100	100
	志願者数	679	469	714	657	678
	受験者数	660	447	696	628	642
	合格者数	351	333	295	298	252
	入学者数	119	127	126	124	118
	志願倍率	6.79	4.69	7.14	6.57	6.78
	入学定員超過率	1.19	1.27	1.26	1.24	1.18
コミュニケーション文化学科	入学定員	100	100	100	100	100
	志願者数	355	435	377	585	588
	受験者数	347	432	366	568	569
	合格者数	189	187	206	209	241
	入学者数	120	120	120	124	131
	志願倍率	3.55	4.35	3.77	5.85	5.88
	入学定員超過率	1.20	1.20	1.20	1.24	1.31
比較文化学部 比較文化学科	入学定員	150	150	150	150	150
	志願者数	718	534	601	586	672
	受験者数	694	509	578	557	647
	合格者数	420	427	461	447	441
	入学者数	178	174	175	179	181
	志願倍率	4.78	3.56	4.00	3.90	4.48
	入学定員超過率	1.18	1.16	1.16	1.19	1.20

資料2

オープンキャンパス来場者数

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
13,751	14,622	15,331	17,683	※ 16,287

※ 平成27年度の来場者数には、平成28年3月26日(土)開催の学科説明会の来場者は含まれていない。
なお、同説明会については、平成25年度は1,378名、平成26年度は1,884名の来場者があり、平成27年度も1,500名以上の来場者を見込んでいる。

資料3

卒業者に占める就職者の割合

学部等名	分野(学科系統)	卒業年月	卒業者	就職者	割合	全国(同一の学科系統)		
						卒業者	就職者	割合
家政学部 被服学科	家政－被服学関係	平成23年3月	112	81	72.3%	1,548	899	58.1%
		平成24年3月	112	83	74.1%	1,567	1,048	66.9%
		平成25年3月	110	82	74.5%	1,522	1,033	67.9%
		平成26年3月	119	100	84.0%	1,405	1,036	73.7%
		平成27年3月	104	87	83.7%	1,327	1,031	77.7%
児童学科 児童教育専攻	家政－児童学関係	平成23年3月	59	45	76.3%	1,212	1,011	83.4%
		平成24年3月	67	50	74.6%	1,191	1,048	88.0%
		平成25年3月	56	37	66.1%	1,064	965	90.7%
		平成26年3月	72	58	80.6%	1,156	1,053	91.1%
		平成27年3月	63	54	85.7%	1,106	1,015	91.8%
ライフデザイン学科	家政－家政学関係	平成23年3月	120	84	70.0%	5,119	3,689	72.1%
		平成24年3月	123	86	69.9%	4,926	3,626	73.6%
		平成25年3月	114	90	78.9%	5,051	3,915	77.5%
		平成26年3月	122	91	74.6%	5,225	4,194	80.3%
		平成27年3月	132	113	85.6%	5,214	4,352	83.5%
文学部 日本文学科	人文科学－文学関係	平成23年3月	119	70	58.8%	33,828	21,528	63.6%
		平成24年3月	129	81	62.8%	33,613	22,209	66.1%
		平成25年3月	115	69	60.0%	31,848	22,295	70.0%
		平成26年3月	116	77	66.4%	32,016	23,554	73.6%
		平成27年3月	127	96	75.6%	31,223	24,180	77.4%
英文学科	人文科学－文学関係	平成23年3月	116	83	71.6%	33,828	21,528	63.6%
		平成24年3月	122	85	69.7%	33,613	22,209	66.1%
		平成25年3月	120	96	80.0%	31,848	22,295	70.0%
		平成26年3月	105	76	72.4%	32,016	23,554	73.6%
		平成27年3月	118	99	83.9%	31,223	24,180	77.4%
コミュニケーション文化学科	人文科学－その他	平成23年3月	121	85	70.2%	39,632	25,325	63.9%
		平成24年3月	128	108	84.4%	39,097	25,898	66.2%
		平成25年3月	116	90	77.6%	38,294	26,821	70.0%
		平成26年3月	127	107	84.3%	38,688	28,095	72.6%
		平成27年3月	125	111	88.8%	38,019	29,302	77.1%
比較文化学部 比較文化学科	人文科学－文学関係	平成23年3月	164	102	62.2%	33,828	21,528	63.6%
		平成24年3月	173	127	73.4%	33,613	22,209	66.1%
		平成25年3月	164	115	70.1%	31,848	22,295	70.0%
		平成26年3月	159	127	79.9%	32,016	23,554	73.6%
		平成27年3月	169	141	83.4%	31,223	24,180	77.4%

※ 学科系統、全国の数値は学校基本調査による。

資料4

就職希望者に占める就職者の割合

学部等名	卒業年月	就職希望者	就職者	就職希望者に占める就職者の割合
家政学部 被服学科	平成23年3月	89	81	91.0%
	平成24年3月	90	83	92.2%
	平成25年3月	94	82	87.2%
	平成26年3月	105	100	95.2%
	平成27年3月	89	87	97.8%
児童学科 児童教育専攻	平成23年3月	55	45	81.8%
	平成24年3月	53	50	94.3%
	平成25年3月	40	37	92.5%
	平成26年3月	63	58	92.1%
	平成27年3月	55	54	98.2%
ライフデザイン学科	平成23年3月	100	84	84.0%
	平成24年3月	102	86	84.3%
	平成25年3月	100	90	90.0%
	平成26年3月	103	91	88.3%
	平成27年3月	116	113	97.4%
文学部 日本文学科	平成23年3月	90	70	77.8%
	平成24年3月	107	81	75.7%
	平成25年3月	87	69	79.3%
	平成26年3月	89	77	86.5%
	平成27年3月	109	96	88.1%
英文学科	平成23年3月	97	83	85.6%
	平成24年3月	98	85	86.7%
	平成25年3月	105	96	91.4%
	平成26年3月	85	76	89.4%
	平成27年3月	103	99	96.1%
コミュニケーション文化学科	平成23年3月	93	85	91.4%
	平成24年3月	119	108	90.8%
	平成25年3月	97	90	92.8%
	平成26年3月	114	107	93.9%
	平成27年3月	114	111	97.4%
比較文化学部 比較文化学科	平成23年3月	129	102	79.1%
	平成24年3月	144	127	88.2%
	平成25年3月	130	115	88.5%
	平成26年3月	141	127	90.1%
	平成27年3月	158	141	89.2%

資料5

卒業生に対する求人受理件数の割合

学部等名	卒業年月	卒業生	求人受理件数	割合
大妻女子大学	平成23年3月	1,557	5,767	3.7 倍
	平成24年3月	1,620	6,567	4.1 倍
	平成25年3月	1,593	7,254	4.6 倍
	平成26年3月	1,632	7,686	4.7 倍
	平成27年3月	1,585	9,130	5.8 倍